

会議名称	平成23年度第2回平塚市スポーツ推進審議会
日時	平成24年(2012年)2月22日(水) 14時から14時56分まで
会場	平塚球場会議室
委員数	15名
出席者 委員	10名 陶山 正明、伊藤 栄治、松崎 勇、伊藤 公明、藤田 早苗、 秋山 智、窪田 英彦、大崎和夫、椎野佳世子、久保満里子
出席者 事務局	5名 橘川社会教育部長、門田スポーツ課長、蓑島課長代理、市川主管、大沢田主任

1 橘川社会教育部長あいさつ

2 陶山会長あいさつ

【事務局】

平塚市スポーツ推進審議会規則第4条に規定する定足数は委員定数15名に対し、本日の出席者10名で過半数を超えているため、会議が成立することを事務局から報告する。

3 議題

(1) 平成24年度社会体育関係事業の予定について

【事務局】 資料1ページに基づき説明

【委員】

市制80周年記念事業として、パークゴルフ大会を開催する理由をお聞きしたい。

【事務局】

パークゴルフを広く周知させたいということと、誰もが楽しめるニュースポーツであるパークゴルフが適していることが理由である。また、パークゴルフ場コース名が「おり姫」、「ひこ星」であることから七夕と関連付けて行うこととした。大会は個人の部、親子の部の2部制で行う予定である。

【会長】

市制80周年を市全体で祝う行事はあるのか。

【事務局】

市の財政状況を鑑み、予算をかけない行事を行うとの考えの下、約20の事業を行う。

(2) 市民総合体育大会について

【事務局】 別紙資料に基づき説明

【会長】

25年度以降今までと同じような形での大会運営が難しくなる可能性があるとのことだが、今後の方向性について関係団体と協議をして、改めてスポーツ推進審議会に審議を求められるのか。

【事務局】

そうである。

【委員】

今後の方向付けは既に固まっているのか。

【事務局】

様々な方法があり、どのような形で行うと良いのかを検討している。

【委員】

24年度については、今年度と同様の形で行われるのか。

【会長】

資料1ページの予定表のとおり、今年度と同様の形で行われる。

【委員】

ニュースポーツの部が開催される前に閉会式が行われるのはおかしいのではないかと。ニュースポーツの部が終わってから閉会式を行うことはできないのか。

【事務局】

可否について、検討させていただきたい。

【委員】

資料概要内の「市民のスポーツ・レクリエーションに対する考え方が大きく変わってきている」とはどのような意味か。

【会長】

従来までの競技スポーツ主体の考え方から、生涯スポーツへの推進という観点に基づき、多くの人々がスポーツを楽しめるようにしようという考えが根底にある。

【委員】

今後スポーツが衰退していくのが心配である。

スポーツは人づくりに関して大きな役割を果たしている。今後は人づくりに視点を置き、スポーツに対して予算をかけて、より平塚市のスポーツを発展させてほしい。

【会長】

ニュースポーツを導入した事を含め、市のスポーツの発展のために市総体により多くの人に参加していただきたい。その考えが、市総体の根底にあると私は考える。

【委員】

スポーツ基本法の中では、よりスポーツに予算をかける旨が記載されている。

平塚市もそのような流れの中でスポーツへ予算をかけていったほうがよいのではないか。

(3) スポーツ基本法等について

【事務局】 資料2 ページから20 ページに基づき説明

【会長】

体育指導委員の人数が現行の129人から100人以内に変更となるようだが、問題は無いのか。

【委員】

以前より教育委員会からその旨話を受けていたので、特に問題は無い。

(4) その他

【会長】

4月からパークゴルフ場の利用料金が値下げされるようだが、その経緯を教えてい

ただきたい。

【事務局】

パークゴルフ場がオープンしてから1年以上経ったが、当初の予想より入場者数を下回ってしまった。その原因として、近隣のパークゴルフ場より利用料金が高いことが考えられたため料金を下げた。利用料金の改定に伴い、65歳以上の利用料金及び8名以上の団体について1人当たりの利用料金を200円に変更し、1日利用券を新たに設けた。

【委員】

1日券を購入した場合、パークゴルフ場から出てしまった場合でもその日のうちであれば再度入場できるのか。

【事務局】

食事等でパークゴルフ場を出ることも考えられるので、再入場を認める予定である。

4 閉会